

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.843
2019.8.4-11

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

神田よしゆき	とば めぐみ
とりうみ敏行	金子 あきよ
松村 としお	たけこし 連
久保 みき	

9月議会のおしらせ

9月議会が9月4日(水)から10月18日(金)までの45日間、開かれます。一般質問には、とりうみ敏行市議と久保みき市議が登壇します。

また、9月議会では決算特別委員会が開かれます。2018年度の予算執行が適切なものであったかを審査します。党市議団の決算委員は神田よしゆき市議と金子あきよ市議です。

請願の締め切りは、**8月27日(火) 17:00**です。請願の提出には紹介議員が必要ですので、お気軽にご相談ください。

市議会をもっと身近に



6月議会報告会ひらかれる

7月26日、浦和コミュニティセンターにて、党市議団主催の6月議会報告会が開かれました。

はじめに、神田よしゆき団長が開会のあいさつをおこないました。続いて、たけこし連、とばめぐみ、金子あきよの3人の新人市議の一般質問の動画を上映し、それぞれ感想を述べました。たけこし市議は「寄せられた声、集めてきた声を市政に届けたいという思いで、核廃絶、学費、コミュニティバスの3点をテーマに選んだ。これからも当事者の声を届けることにこだわっていききたい」と話しました。続いてとば市議は「保護者の声に基づいて、不登校児童生徒への不適切な対応

の改善を求めたが、副教育長は『不適切な対応はなかった』と答えた。あったことをなかったことにしてしまうのは大変疑問。保育の質の確保、過大規模校の解消など、子どもたちの豊かで健やかな成長のために引き続きがんばりたい」と語りました。金子市議は「学習支援事業への一般競争入札導入は、他市や制度に与える影響が大きい。今後も注視していく」と述べました。

次に、保健福祉委員会と文教委員会の議案外質問について、質問者と担当課、委員長役に分かれて質問の様子を再現しました。

保健福祉委員会で民間学童保育のAED設置について質問したとりうみ敏行市議は、「さ

いたま市学童保育連絡協議会の懇談会で、保護者から切実な声が寄せられていた。公設の放課後児童クラブではAED設置率が100%なのに対し、民間学童保育では24%。民間で設置が進まない要因について市は費用面で負担があることを認め、委託料等で補助していく旨の答弁をした。設置のための公的支援を実現したい」と述べました。文教委員会でいじめ問題について質問した久保みき市議は「いじめも児童虐待も、行政や学校が適切な介入をおこなっていれば、絶対に防げた。これ以上悲しい事件を繰り返さないために議会ができることに全力でとりくんでいく」と強調しました。

続いて6月議会の議案や請願の取り扱いについて、松村としお市議が報告をおこないました。さいたま新都心へのバスターミナル暫定整備の議案や、保育「無償化」に反対した理由などを示し、今後も1件1件の議案を精査し、市民の利益と照らして判断していく、と述べました。

最後に、参加者から「市議会が市民にとって遠くなっている。党市議団の果たしている



委員会の議案外質問の様子を再現

役割をもっと発信するべき」「市民の要求を進めるうえで、他会派との共闘、とくに野党共闘をどう考えているのか」「党市議団の『コミュニティバスの充実』の政策について、各区の現状に沿った具体的な政策提案をしてほしい」など、広範な意見が寄せられました。

感想

- 一般質問の動画は質問の中身も分かりよかったです。委員会質問も当局の答弁がよく分かった。質問時間が短く、やっぱり議員を増やさなくてはと改めて思った。
- 新人議員3名の一般質問は怒る場面もあり、「市民の声を聞け」と市への迫力がよく伝わってきた。

一人ひとりの子どもに行き届いた教育を

30人学級実現スタート集会

6月29日、「30人学級を実現するさいたま市民の会」が30人学級実施を求める請願署名のスタート集会をひらき、党市議団から松村としお・久保みきの両市議が参加しました。

学級編成の基準は40人ですが、本市は小学校1・2年で35人・中学校1年で38人学級としています。しかし政令市(20市)でみると、少人数学級を小学校全学年で実施している市が2市、小・中学校の全学年で実施している市が9市あります。全体として本市より少人数学級のとりくみがすすんで



いるのは18市(大阪市以外)です。

また本市は、教員一人あたりの児童生徒数が政令市でもっとも多く、教員の負担軽減も求められています。一人ひとりの子どもに行き届いた教育をすすめるうえで少人数学級導入は重要課題であり、請願署名の意義を参加者で確かめました。

松村市議は「35人学級に必要な予算は1学年あたり3億円余。本市の年間予算は約1兆円であり、実現可能な金額。党市議団も市民と連帯してとりくむ」と語りました。



懇談に同席するとりうみ市議(左)

名簿の「提供」はおこなわず

自衛官募集問題

簿の提供は、個人情報に抵触するのでおこなわない」と述べました。しかし、自衛隊がどの年齢層の名簿を利用しているかについては、まったく把握していないとのことでした。

とりうみ市議は「全国では、中学生にまで募集案内が出されているという報告もある。自衛隊の役割が大きく変貌するなかでの名簿閲覧と利用に対し、行政として掌握に努めるべきだ」と要請しました。平和委員会からは、市報に自衛官募集を掲載することを再検討するよう求めました。

7月3日、埼玉県平和委員会はさいたま南・おおみやの両平和委員会とともに、広報による自衛官募集問題で市と懇談し、とりうみ敏行市議が同席しました。

懇談のなかで、市は「法と条例に従って住民基本台帳の閲覧を認め、広報には年2～3回、自衛官募集の記事を掲載している」「名

PHOTO NEWS



(左) 北区
中央区



核兵器禁止条約批准は被爆者と市民のねがい

7月28日、第34回埼玉県原爆死没者慰霊式が浦和区でおこなわれ、久保みき、松村としお、金子あきよの各市議が参列しました。

式では県内で昨年亡くなった88人の被爆者を記帳した1617人の死没者名簿を奉納し、平和への願いを込めて折鶴と菊花を捧げました。県原爆被害者協議会の田中熙巳会長は「慰霊のことば」で、核兵器禁止条約の署名も批准もしない日本政府の態度を批判し、



慰霊式に参列した(右から)久保、松村、金子の各市議

憲法9条の精神を世界に広めていく決意を述べました。

党市議団はこれまでも、核兵器禁止条約の批准を政府に求めるよう市長に対して繰り返し求めてきました。引き続き被爆者のみなさんの願いに応え、核兵器廃絶の世論を広げよう、議会できりあげていきます。

あなたの身近な議員です



市議(北区)

神田よしゆき



市議(浦和区)

とりうみ敏行



市議(緑区)

松村としお



市議(桜区)

久保みき



市議(見沼区)

とばめぐみ



市議(南区)

金子あきよ



市議(中央区)

たけこし連